令和7年度 「障害者週間」関連行事（予定）【関係機関・団体 主催行事】

【関係機関・団体 主催行事】

NO.	省 庁 名 （所管省庁／主催機関・団体）		行事・取組 名称	内　　容	開催期間 ＜開催時刻＞	開催場所	一般参加の可否	問 合 先
01	内閣府	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	障がい者雇用セミナー	障害者雇用促進に必要な関連知識の理解は重要であり、障害者をサポートする上での必要な知識を深めるため、有識者を招へいし、法人職員を対象に講演を実施する。	令和7年10月22日（水）10:00～11:30	機構内会議室	×	国立研究開発法人日本医療研究開発機構人事部人事課 TEL：03-6870-2202
02	金融庁	一般社団法人電子決済等代行事業者協会	金融IT企業のための「合理的配慮」実践ガイド（仮）	以下をテーマとして、勉強会の開催を予定している。 1. 法的義務と最新動向の解説 「改正障害者差別解消法」施行後の企業に求められる義務と、金融庁・経産省が示すガイドラインの最新情報 2. 合理的配慮の具体的事例 登壇者に、障害者向けの合理的配慮について、具体的な事例を講演いただく。	以下の候補日程にて、調整中 ・令和8年1月16日（金） 13:00～17:00 ・令和8年1月20日（火） 13:00～17:00	オンライン	○	フリー株式会社　広報 兼 電子決済等代行事業者協会　広報 品田真季 TEL：080-2160-2913 MAIL:nozawa-maki@freee.co.jp
03	金融庁	（株）ゆうちょ銀行	障がい者アーティスト作品展示会	障がい者アーティストに作品発表の機会を提供することを目的に、多くの人が足を運びやすい東京駅前で障がい者アーティストの絵画作品展示会を開催。	令和7年11月7日（金）～ 令和8年1月6日（火）	KITTE丸の内B1階 ショーケース	○	株式会社ゆうちょ銀行 広報部 TEL：03-3477-0111（日本郵政グループ代表）
04	金融庁	（株）ゆうちょ銀行	障がい者アーティスト作品をデザインしたPE袋の配布	障がい者アーティストに作品発表の機会を提供することを目的に、障がい者アーティストの作品をデザインしたPE袋（環境に優しいバイオマス素材使用）を作成し、全国のゆうちょ銀行直営店で配布。	令和7年8月～無くなり次第終了	（株）ゆうちょ銀行 直営店（全国）	○	株式会社ゆうちょ銀行 広報部 TEL：03-3477-0111（日本郵政グループ代表）
05	金融庁	株式会社 商工組合中金庫	社内研修会	障がいのある社員を対象として、外部講師も招き、自己理解と受容を促し、キャリアゴール・プランの設定や、自己開示の能力を身に付ける内容での研修を実施するもの。	2025年12月12日（金）	株式会社　商工組合中央金庫 MIRAI Campus（研修会館）	×	株式会社　商工組合中央金庫 DE＆I推進部　人権グループ TEL：03-3246-9372 MAIL:deisaiyo@gm.shokochukin.co.jp
06	外務省	人事課障害者雇用班	全省員向け研修	障害者雇用についての関心と理解を深めるとともに、障害者職員と共に業務に取り組む職場環境を整えることを目的とする。	令和7年12月（予定）	外務本省	×	外務省 人事課障害者雇用班 TEL:03-5501-8087

令和7年度 「障害者週間」関連行事（予定）【関係機関・団体 主催行事】

【関係機関・団体 主催行事】

NO.	省 庁 名 （所管省庁／主催機関・団体）		行事・取組 名称	内　　容	開催期間 ＜開催時刻＞	開催場所	一般参加の可否	問 合 先
07	外務省	独立行政法人国際協力機構	ユニバーサルスポーツフェスティバル2025	ユニバーサルスポーツは、年齢、性別、障害の有無などに関係なく、すべての人々が平等に参加できるスポーツである。本フェスティバルでは参加者全員が様々な違いを超えて「ユニバーサルスポーツ」を楽しく体験することを通じ、インクルーシブな地域社会作りへ貢献する。（競技内容：風船バレー、卓球バレー、ボッチャ）	2025年10月26日（日） 13時30分から16時30分	JICA東京　体育館	○	独立行政法人国際協力機構　JICA 東京　市民参加協力第二課 03-3485-7051
08	外務省	独立行政法人国際協力機構	開催迫る！デフリンピック応援企画「デフリンピックを知ろう－映画とトークで広がる世界」	11/15から開催されるデフリンピック応援企画として、日本で初めてデフリンピックが開催されるのを機に、全日本ろうあ連盟スポーツ委員会が製作した映画『みんなのデフリンピック』の上映（20分）＆トークイベントを開催する。デフリンピックを知り、未来に向け、誰もが一緒に生きる共生社会について考えるきっかけとする。	2025年11月11日（火） 18時30分から20時30分	JICA地球ひろば	○	独立行政法人国際協力機構　JICA地球ひろば 0120-767278
09	外務省	独立行政法人国際協力機構	障害平等研修（DET）	組織内の障害主流化のため、障害者差別や排除の状況を分析し、参加者自身がそれを変えていく行動の主体となることを目的とした研修を実施する。	①2025年10月8日（水） 14時00分から16時00分 ②2025年12月10日（水） 14時00分から15時30分 ③2026年1月（日時未定） ④2026年2月（日時未定） ⑤2025年12月（日時未定） ⑥2025年12月（日時未定）	①～④JICA本部 ⑤JICAパラグアイ事務所 ⑥JICA九州	×	①～⑤　独立行政法人国際協力機構　人間開発部　高等教育・社会保障グループ　社会保障チーム 03-5226-6660 ⑥　独立行政法人国際協力機構　JICA九州センター 093-671-6311
10	財務省	日本たばこ産業株式会社	DE＆I研修（従業員対象）	ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョンの組織風土醸成のため、障がいのある従業員と共に働くことについて理解する研修（イーラーニング）を全従業員対象に実施している。	令和7年7月9日（水）～ 12月31日（水）	オンライン	×	日本たばこ産業株式会社 人事部 TEL:03-6636-2914
11	財務省	日本たばこ産業株式会社	障がいのある社員と働く社内事業所の紹介動画	障がいのある社員を含む事業所の様子をインタビューを交えて動画として制作。全従業員対象への啓発として社内イントラネットで公開する。 また、契約している外部サービスのセミナー動画の中で、障がいを理解するために参考となる動画をピックアップし、全従業員に告知紹介する。	令和7年12月1日（月）～	オンライン	×	日本たばこ産業株式会社 人事部 TEL:03-6636-2914
12	文化庁	京都新聞（文化庁と共催）	「CONNECT⇄ こちこちの ここちを ここちあう」	アートを通して、多様性や共生社会のありかたについて、障害のある方もない方も共に考え、語り合い、実践するプロジェクトである。12月の「障害者週間（3日～9日）」に合わせて、京都国立近代美術館など京都市岡崎公園内の文化施設において、様々な文化芸術プログラムを実施する。	令和7年11月28日（金）～ 12月14日（日）	京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、京都府立図書館、ロームシアター京都、 京都市動物園、京都市勧業館みやこめっせ	○	①文化庁 参事官（生活文化創造担当）付 TEL：075-451-9571 FAX：051-451-9589 MAIL：jigyou-soukatsu@mext.go.jp ②「CONNECT⇄ 」事務局 京都新聞 COM営業局事業部内 TEL：075-255-9757 FAX：075-255-9763 MAIL：connect-art@mb.kyoto-np.co.jp

令和7年度 「障害者週間」関連行事（予定）【関係機関・団体 主催行事】

【関係機関・団体 主催行事】

NO.	省 庁 名 （所管省庁／主催機関・団体）		行事・取組 名称	内　　容	開催期間 ＜開催時刻＞	開催場所	一般参加の可否	問 合 先
13	文化庁	国立映画アーカイブ	『それから』『（ハル）』バリアフリー上映	上映企画「映画監督 森田芳光」において、①『それから』11月15日12:30の回、②『（ハル）』11月15日16:00の回は、聴覚障碍の方向けの日本語字幕と映画の音声を増幅するヒアリングループシステムを用意し上映する。また、視覚障碍の方向けの音声ガイドをFM配信し、ラジオ貸出も行う（いずれも事前予約制。申込期間：R7年10月28日（火）―11月13日（木）　＊定員に達し次第、締切り）。	①令和7年11月15日（土） 12:30～14:40 ②令和7年11月15日（土） 16:00～18:00	国立映画アーカイブ	○	国立映画アーカイブ 学芸課上映室 TEL：03-3561-0823 FAX：03-3561-0830 MAIL：assist@nfaj.go.jp
14	文化庁	国立西洋美術館	美術館でクリスマス	「美術館でクリスマス」（令和7年11月26日（水）～12月25日（木））の期間中、常設展を活用して小さなお子さまから障害のある方まで安心して参加頂ける企画を開催する。 ①「みんなのクリスマス・キャロル・コンサート」（令和7年12月20日（土）・21日（日））は演奏中の出入り可とし、車いす席等を設ける。 ②「ギャラリートーク」（同12月20日（土）～21日（日）に計4回開催）の内の1回、及び③「ボランティアート」（同12月20日（土）～21日（日））において、手話通訳者が待機する。	令和7年12月20日（土） ①15:00～15:40 ②11:00～11:30 ③時間未定 令和7年12月21日（日） ①13:00～13:40 ③時間未定	国立西洋美術館 ①講堂、②③常設展ゾーン	○	国立西洋美術館 ハローダイヤル（050-5541-8600）
15	文化庁	国立西洋美術館	「オルセー美術館所蔵 印象派―室内をめぐる物語」展スライドトーク	展覧会の見どころや主な作品についてスライドを使って解説するプログラム。全8回の内、2回について情報保障対応として手話通訳を付ける。テレコイル対応の補聴援助システムの貸出あり。	①令和7年11月28日（金） 17:30～18:00 ②令和8年1月8日（木） 11:00～11:30	国立西洋美術館 講堂	○	国立西洋美術館 ハローダイヤル（050-5541-8600）
16	文化庁	独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園	手話で楽しむ植物園	植物と、関連する手話について手話通訳付きで解説する。（協力・つくばバリアフリー学習会）	令和7年11月8日（土） 13:30-15:00 申し込みは1か月前からホームページにて行う（事前予約制）	筑波実験植物園	○	筑波実験植物園 TEL 029-851-5159
17	文化庁	独立行政法人日本芸術文化振興会（文化庁と共催）	国立能楽堂11月企画公演「手話狂言」	「手話狂言」は、古典芸能の魅力と手話の豊かな表現力がつながり、40年以上もの間世界中で上演を重ねてきた。日本ろう者劇団による手話を介した狂言の演技に三宅狂言会が声を重ねる。狂言の所作はそのままに、台詞を手話と声の両方で表情豊かに表現することで、誰もが同じ舞台を楽しむことができる公演を実施する。	令和7年11月22日（土） 午後1時開演	国立能楽堂	○	国立劇場チケットセンター TEL：0570-07-9900/03-3230-3000（一部IP電話等） MAIL:ntj-support@e-get.jp
18	文化庁	独立行政法人日本 芸術文化振興会 公益財団法人新国 立劇場運営財団	演劇「スリー・キングダムス Three Kingdoms」	視覚・聴覚に障害をお持ちの方向けの観劇サポートを提供する。 耳に障害のあるお客様へポータブル字幕機の貸出し、目に障害のあるお客様へ公演前の舞台説明会実施、リアルタイム音声ガイド放送等。（無料。チケット料金のみで利用可能	耳に障害のあるお客様： 令和7年12月11日（木） 14:00公演、 12月13日（土）13:00公演 目に障害のあるお客様： 令和7年12月11日（木） 14:00公演、 12月13日（土）13:00公演	東京都渋谷区 新国立劇場中劇場	○	公益財団法人新国立劇場運営財団 ボックスオフィス 耳に障害のあるお客様：インターネットまたはFAX 目に障害のあるお客様：ボックスオフィス電話 TEL:03-5352-9999 FAX:03-5352-5744

令和7年度 「障害者週間」関連行事（予定）【関係機関・団体 主催行事】

【関係機関・団体 主催行事】

NO.	省 庁 名 （所管省庁／主催機関・団体）		行事・取組 名称	内　　容	開催期間 ＜開催時刻＞	開催場所	一般参加の可否	問 合 先
19	文化庁	独立行政法人日本 芸術文化振興会 公益財団法人新国 立劇場運営財団	「Open Theatre Project～知ろう、始めよう、観劇サポート～」	公演での視覚障がい、聴覚障がいをお持ちの方へのサービスに関心のある舞台芸術関係者等に向けて、新国立劇場の観劇サポートに深く関わり、さまざまな場所でバリアフリーな舞台芸術空間に取り組んでいる企業・団体を迎え、2つの講演を開催する。 ①「スリー・キングダムス」字幕ガイド、音声ガイド等の観劇サポート体験 ②(株)イヤホンガイドを共催に迎えた講演 ③一般社団法人 日本舞台美術家協会を共催に迎えた「触る模型」に関する講演	①令和7年12月13日(土) 13:00公演 ②令和7年12月14日(日) 15:00～17:15 ③令和8年1月18日(日) 15:00～17:00	東京都渋谷区 新国立劇場	○	「Open Theatre Project」係 メール：opera09@nntt.jac.go.jp メールでのお問い合わせの際は、件名冒頭に【OTP】とご記入ください。
20	文化庁	独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館	博物館でアジアの旅「日韓国交正常化60 周年記念 てくてくコリア――韓国文化のさんぽみち――」	コレクションの保存と活用、展示、教育、サービスなど包括的な視点で未来を見据え、サステナブルかつインクルーシブなミュージアムを目指すため、「東洋館インクルーシブ・プロジェクト」をスタートする。プロジェクト第1弾として、視覚障害者も楽しめるプログラムを実施する。	令和7年9月23日(火・祝)～ 11月16日(日)	東京国立博物館 東洋館	○	〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館学芸研究部調査研究課 東洋室 TEL：03-3822-1111(代表)
21	文化庁	独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館	博物館でアジアの旅「日韓国交正常化60 周年記念 てくてくコリア――韓国文化のさんぽみち――」	インクルーシブ・プロジェクトで制作した音声ガイドとハンズオンを体験いただき、視覚障害者、晴眼者が一緒に研究員との対話を楽しむ鑑賞会を実施する。	令和7年10月25日(土)	東京国立博物館 東洋館	×	〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館学芸研究部調査研究課 東洋室 TEL：03-3822-1111(代表)
22	文化庁	独立行政法人国立文化財機構 九州国立博物館	衣装体験イベント「古代人に変身！」	弥生時代、古墳時代、平安時代初期の服を着る体験イベントを実施する。車いす用の衣装も準備する。	令和7年11月29日(土)	九州国立博物館	○	九州国立博物館　企画課教育普及 TEL：092-918-2851 FAX：092-918-2864 MAIL:edu@kyuhaku.jp
23	文部科学省	独立行政法人日本学生支援機構	障害者差別解消法に関する理解・啓発セミナー(基礎編)	令和6(2024)年4月1日「改正障害者差別解消法」施行に伴い、民間事業者へも合理的配慮の提供が法的義務となった。本セミナーは、高等教育機関全体で同法の合理的配慮の提供について理解を深め、障害学生・生徒支援と体制整備の充実を図ることを目的とする。 本セミナーの基礎編は、障害者差別解消法に関する基本的事項の理解・啓発を中心としたプログラムで実施する。 対象は、高等教育機関(国公私立大学、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程))の全教職員及び役員向けで、障害者差別解消法に関する基本的事項について学ぶ内容となっている。具体的には、用語解説と紛争の防止・解決等の事例に関する解説を交えた各10分程度の動画配信で、学内の教職員向け研修などでも、活用いただける内容となっている。	配信開始： 令和5年10月10日(火)～ 令和7年3月31日(火)(予定)	オンライン(オンデマンド配信)	○	独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部　障害学生支援課 障害学生支援計画係 TEL：03-5520-6173 FAX：03-5520-6051 MAIL:tokubetsushien@jasso.go.jp

令和7年度 「障害者週間」関連行事（予定）【関係機関・団体 主催行事】

【関係機関・団体 主催行事】

NO.	省 庁 名 （所管省庁／主催機関・団体）		行事・取組 名称	内　　容	開催期間 ＜開催時刻＞	開催場所	一般参加の可否	問 合 先
24	文部科学省	独立行政法人日本学生支援機構	令和7年度障害者差別解消法に関する理解・啓発セミナー（実践編）	令和6（2024）年4月1日「改正障害者差別解消法」施行に伴い、民間事業者へも合理的配慮の提供が法的義務となった。本セミナーは、高等教育機関全体で同法の合理的配慮の提供について理解を深め、障害学生・生徒支援と体制整備の充実を図ることを目的とする。 本セミナーの実践編は、基礎編の内容を前提として、専修学校（専門課程）、大学、短期大学、高等専門学校のすべての教職員及び役員を対象として定員を50名程度で、紛争の防止・解決等の事例に関するグループディスカッションを中心とした対面でのセミナーを実施する。	令和7年11月18日（火）	東京国際交流館　プラザ平成 （東京都江東区青海2-2-1）	×	独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部　障害学生支援課 障害学生支援計画係 TEL：03-5520-6173 FAX：03-5520-6051 MAIL:tokubetsushien@jasso.go.jp
25	文部科学省	NPO法人ピープルデザイン研究所	「超福祉の学校」@SHIBUYA	従来の福祉のイメージとは一線を画す、渋谷らしい福祉を全国に発信する”超福祉”イベント。その中のひとつである「超福祉の学校@SHIBUYA」は、障害の有無にかかわらず共に学び生きる共生社会の実現を目指し、渋谷ヒカリエを会場にシンポジウムと展示・体験を実施している。 シンポジウムでは、従来の教育や特別支援教育や障害福祉の枠に収まらない、多種多様な方々が登壇し、国内のみならず海外ともオンラインで繋ぎ、世界各地の最先端の学校教育、社会教育、生涯学習やインクルーシブ教育に関する具体的な事例やアクションを渋谷から発信する。 展示・体験は「超福祉の図書館」と名付け、インクルーシブな遊びと学びをテーマに、公園・図書館・美術館・博物館などを混在させた、誰もが楽しめる”室内型公共空間のあり方”を提示。遊具・図書・テクノロジー・アート・音楽などをみて・きいて・ふれて、体で感じて楽しめる感覚を刺激するコンテンツが体験できる。	令和7年10月28日（火）～11月4日（火） ①10/28（火）～11/4（火） 11:00-20:30（最終日11/4（火）は18:00で終了） ②10/31（金）～11/3（月・祝） 11:30-20:30 （最終日11/3（月・祝）は18:30で終了）	①展示・体験：渋谷ヒカリエ8F 08/CUBE1,2,3 ②シンポジウム：渋谷ヒカリエ8F 08/COURT（オンライン併用）	○	文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 障害者学習支援推進室 TEL:03-6734-3613 Mail:sst@mext.go.jp NPO法人ピープルデザイン研究所 TEL:03-4400-6774 Mail:contact@peopledesign.or.jp
26	文部科学省	独立行政法人日本学生支援機構	令和7年度障害学生支援実務者育成研修会（応用プログラム）	本研修会は、高等教育機関における障害学生支援について、支援ニーズに応じた支援方法の調整、具体的な支援計画の策定、関係者との連携を行うために必要な専門的知識の習得等を目的とする。 対象は、大学、短期大学、高等専門学校において障害学生支援の実務に従事している教職員として定員を70名程度で、高等教育機関における障害学生支援の事例等に関する実践的演習を中心とした対面での研修会を実施する。	令和7年11月6日（木）、7日（金）	天満研修センター（大阪府大阪市北区錦町2-21）	×	独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部　障害学生支援課 障害学生支援事業係 TEL：03-5520-6174 FAX：03-5520-6051 MAIL:kyoshoku2@jasso.go.jp
27	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	令和7年度研究所公開	国立特別支援教育総合研究所（特総研）を一般開放する研究所公開を開催する。特総研の研究内容を紹介するほか、体験型の展示を通じて特別支援教育や障害への理解を深めていただくことができる。	令和7年11月8日（土） 10:00～15:30	国立特別支援教育総合研究所（神奈川県横須賀市野比）	○	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 総務部総務企画課広報係 TEL:046-839-6803 MAIL:a-koho@nise.go.jp
28	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	令和7年度特別支援教育推進セミナー	特総研は、地域における特別支援教育の理解啓発を図るため、教育委員会、特別支援教育センター、関係団体等及び大学と連携を図りながら、インクルーシブ教育システム構築に向け、特別支援教育推進セミナーを開催する。 本セミナーでは、昨今の教育課題に対応した特別支援教育に関する講義や、実践発表、研究協議を行う。全国を6ブロック（北海道・東北ブロック、関東甲信越ブロック、東海北陸ブロック、近畿ブロック、中国・四国ブロック、九州ブロック）に分け、参加者はブロック内の他の自治体や学校の参加者と交流を図ることで、新たな視点や知見を広げる機会としていただける。 令和7年度は、北海道・東北ブロック、中国・四国ブロック、九州ブロックを対象に開催しており、このうち、九州ブロック（－地域の実績や地理的特色を生かした多様な学びの場における指導・支援の充実－）を11月に開催する。 対象：全国の教育関係者、福祉関係者、保護者等。協議は九州ブロック（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）の教育委員会・学校に勤務の方	令和7年11月12日（水） 13:00～17:00	オンライン	○	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 特別支援教育推進セミナー担当 TEL:046-839-6803 MAIL:v-seminar2025k@nise.go.jp（九州ブロック）

令和7年度 「障害者週間」関連行事（予定）【関係機関・団体 主催行事】

【関係機関・団体 主催行事】

NO.	省 庁 名 （所管省庁／主催機関・団体）		行事・取組 名称	内　　容	開催期間 ＜開催時刻＞	開催場所	一般参加の可否	問 合 先
29	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	令和7年度インクルDBセミナー	特総研では「インクルDB（インクルーシブ教育システム構築支援データベース）」を運用しており、インクルDBの「実践事例データベース」では、子供の実態に応じた合理的配慮や基礎的環境整備を示した590件の実践事例を公開している。インクルDBについて理解を深め、合理的配慮や基礎的環境整備に関する幼児児童生徒の事例を検索したり、学校や地域での研修等に活用したりできるようになることを目的として本セミナーを開催する。	令和7年12月17日（水） 16:00～17:00	オンライン	○	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター（インクルDB担当） TEL:046-839-6803 MAIL:v-incl-db2025@nise.go.jp
30	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	2025年度NISE特別支援教育国際シンポジウム	諸外国における障害のある子どもの教育制度や実践に関する話題提供等を踏まえ、日本の小・中学校における指導・支援の充実について共に考えるため本セミナーを対面およびオンラインで開催する。 日本のインクルーシブ教育システムに関する基調講演や、スウェーデン、韓国、フランスの特別支援教育に詳しい研究者による諸外国のインクルーシブ教育システムの現状紹介、パネルディスカッションを予定している。	令和7年12月20日（土） 13:00～16:30	【対面】ビジョンセンター横浜みなとみらい701会議室（神奈川県横浜市西区） 【オンライン】YouTubeライブ配信	○	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター（国際担当） TEL:046-839-6803 MAIL:v-kokusai-event@nise.go.jp
31	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	第9回広島大学ダイバーシティ＆インクルージョン推進機構（HUD&I）国立特別支援教育総合研究所（NISE）ジョイントセミナー	日本、カンボジア、インドネシア、韓国、アメリカの研究者および実践者を迎え、インクルーシブ教育、ウェルビーイング、文化的多様性、そして地域に根ざした支援体制のあり方について、学際的かつ国際的な視点から対話を展開することを目的として本セミナーを開催する。	令和7年12月21日（日） 10:00～16:30	【対面】広島国際会議場（広島県広島市中区） ＊オンラインあり	○	広島大学 ダイバーシティ＆インクルージョン推進機構マネジメント部門 MAIL:d-and-i-event@hiroshima-u.ac.jp
32	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	令和7年度第3回盲ろう教育実践セミナー	視覚と聴覚の両方に障害がある「盲ろう」の子供の教育の充実と、関わる先生方の専門性向上を図るために、盲ろう教育実践セミナーをオンラインで開催する。 対象：盲ろう幼児児童生徒の教育・療育等に関わっている、あるいは盲ろう教育に興味・関心のある教職員等	令和7年12月24日（水） 10:00～12:00	オンライン	○	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 重複班　盲ろう教育実践セミナー担当 TEL:046-839-6803 MAIL:v-db-seminar@nise.go.jp
33	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	令和7年度発達障害教育実践セミナー	「特別支援教育を担う教師の養成の在り方等に関する検討会議報告」（令和4年3月）では、小中学校等の通常の学級で指導にあたる教師にも、特別支援教育の理解や専門性が求められていることが示された。本セミナーでは、都道府県教育委員会や政令指定都市教育委員会の事務局（指導主事等）を対象に、「通常の学級における発達障害教育の充実に向けた展望と人材育成」について検討する。	令和7年12月4日（木） 9:30～15:30	オンライン（ライブ及びオンデマンド）	×	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター TEL:046-839-6803 MAIL:v-r7-hseminar@nise.go.jp
34	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	令和7年度発達障害教育基礎セミナー	発達障害教育推進センターでは、「発達障害教育の情報提供等にかかる検討会議」を設置し、通常の学級における発達障害教育の現状と課題を把握するとともに、Webを活用した情報提供等に向けた取組を行っている。その一環として本セミナーを開催し、検討会議の委員である笹森洋樹氏より、通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒に対する指導・支援について知見を提供いただく。	令和7年7月18日（金）～ 令和8年1月12日（月・祝）	オンデマンド配信	○	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター セミナー担当 TEL:046-839-6803 MAIL:v-r7-kseminar@nise.go.jp

令和7年度 「障害者週間」関連行事（予定）【関係機関・団体 主催行事】

【関係機関・団体 主催行事】

NO.	省 庁 名 （所管省庁／主催機関・団体）		行事・取組 名称	内　　容	開催期間 ＜開催時刻＞	開催場所	一般参加の可否	問 合 先
35	厚生労働省	公益財団法人テクノエイド協会	障害者自立支援機器「ニーズ・シーズマッチング交流会2025」	障害者及び障害児（以下「障害者」）の活動や参加を促すものとして、極めて重要な役割を果たす障害者自立支援機器「（以下「支援機器」）」について、真に必要とされる支援機器を開発するため、試作機等を用いた意見交換やモニター評価等を行う機会を創出することする等、開発の早い段階から障害者や支援者の「ニーズ」と、企業や研究者等の「シーズ（技術）」をマッチングをはかることを目的とした交流会である。	①東京会場 令和7年12月18日（木）～20日（土） ②web開催 令和7年10月1日（水）～令和8年1月31日（土）	東京都立産業貿易センター浜松町館3階展示室	○	公益財団法人テクノエイド協会 企画部 TEL:03-3266-6883
36	農林水産省	一般社団法人日本農福連携協会／株式会社インサイト／農福連携等応援コンソーシアム／農福連携全国都道府県ネットワーク	ノウフクの日記念イベント2025「11月29日はノウフクの日！～聞いて、知って、食べて農福連携～」	農福連携について広く知っていただけるよう、昨年、11月29日（November（ノウ）29（フク））をノウフクの日に制定した。本イベントでは、農福連携に取り組む若手農業者や、地域協議会及びユニバーサル農園の実践者等による講演とトークセッション、農福連携の現場で活躍する方による講演を会場で行うほか、オンラインでも配信する。さらに、会場では農福連携産品の展示・試食も行い、ノウフクの日を盛り上げる。	令年7年12月1日（月） 13：00～17：00	ベルサール虎ノ門（収容人数200名程度） 東京都港区虎ノ門2-2-1住友不動産虎ノ門タワー 2F	○	一般社団法人　日本農福連携協会 （Tel：03-6272-8839 メール：info@noufuku.or.jp）
37	農林水産省	農福連携等応援コンソーシアム	ノウフク・アワード2025表彰式	全国で農福連携に取り組む団体・企業や個人を募集し、農福連携の優れた取組をノウフク・アワードとして表彰。国民運動としての機運を高め、農福連携の全国的な展開につなげることを目的として今年度の受賞者に対する表彰式を開催する。	令和8年1月28日（水）	木材会館（東京都江東区新木場1-18-8）	×	一般社団法人日本基金 （TEL:03-3518-5196）
38	農林水産省	一般社団法人　ぶどうの木	2026 ノウフクフェスタ@上野公園	農業×福祉×地域の価値を発信し、農福連携の認知の向上と、取り組みの輪を広げるきっかけの場とすることを目的として開催。 ①ノウフクマルシェブース（農福連携事業所の産品を販売、取り組みの紹介） ②ノウフク食堂（全国のノウフク食材を使用した屋台村の出店） ③ノウフクPRブース（各省庁、千葉県、千葉大学その他の団体の取り組み紹介） ④ノウフク相談ブース（農福連携に関する様々な情報の発信と相談窓口） ⑤トークセッションやミニコンサート	令和8年1月24日～ 令和8年1月25日	上野公園噴水横前広場	○	一般社団法人ぶどうの木 （TEL:047-489-5503）
39	経済産業省	一般社団法人日本スイミングクラブ協会	グリコチャレンジスイム2025　第15回JSCA全国知的障害者水泳競技大会	知的障害者スポーツの振興・普及活動、及び知的障害者の水泳競技における練習成果発表の場の提供を目的とし、水泳競技大会を開催	令和7年11月30日（日）	和歌山県和歌山市/秋葉山公園県民水泳場（あきばさんプール）	○	一般社団法人日本スイミングクラブ協会　事務局 TEL：03-6381-0750 FAX：03-6381-0752 MAIL：jsca@sc-net.or.jp
40	経済産業省	一般社団法人日本スイミングクラブ協会	障害者水泳指導者研修会 テーマ：ダウン症児の水泳指導について	知的障害者スポーツの振興・普及活動、及び知的障害者への水泳指導力の向上を目的とし、研修会を開催	令和8年1月18日（日）	石川県金沢市／リバティ水夢倶楽部	○	一般社団法人日本スイミングクラブ協会　事務局 TEL：03-6381-0750 FAX：03-6381-0752 MAIL：jsca@sc-net.or.jp